

韓国の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況 (2025年9月以降)

2025年10月28日時点
農林水産省動物衛生課

出典：韓国農林畜産食品部

京畿道				
(1) 2025.9.12	坡州市	肉用鶏	3,100羽	H5N1(高病原性)

光州広域市				
(2) 2025.10.27	南区	ガチョウ他	133羽	H5N1(高病原性)



高病原性鳥インフルエンザの発生状況(確定)

月	事例数	殺処分羽数(羽)
9月	1	3,100
10月	1	133
計	2	3,233

韓国の家きんにおけるHPAIの月ごとの発生件数推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
R4(2022)	0	3	24	29	7	6	2	4	0	0
R5(2023)	0	0	1	24	5	1	0	0	1	0
R6(2024)	0	1	4	14	12	4	8	4	1	3
R7(2025)	1	1								

(注)

- 農林水産省にて発生報告ごとに累計(予防的殺処分等は含まず)
- 事例数等は病原性が確定した事例のみ記載
- 日付は症状が確認された日または検体採取日(赤字は更新箇所及び最新情報に基づいた修正箇所)
- N亜型未記載は、未公表又は未確定。
- 低病原性鳥インフルエンザは、H5又はH7亜型であって高病原性鳥インフルエンザでないものを意味し、H9亜型等の鳥インフルエンザは含まない。
- 韓国での表記によらずカモ科の家きんはすべて「あひる」としている。